

平成20年度第3回(第6期第10回)浦安市廃棄物減量等推進審議会(議事要旨)

1 開催日時 平成20年11月21日(木) 午前10時～午前12時

2 開催場所 文化会館 中会議室

3 出席者

(委員)

横山会長、服部副会長、木村委員、奥井委員、都築委員、樋渡委員、小川委員、大塚委員、加納委員、小林委員

(事務局)

古賀部長、押尾次長、吉田クリーンセンター次長、永井課長、峰崎リーダー、花田リーダー、毎田主任主事

4 議 題

(1) 近隣市のごみ量の推移について

(2) 浦安市レジ袋削減検討協議会の設置について

(3) 一般廃棄物処理手数料の料金改定に伴う周知方法及び経過について

5 議事の概要

(1) 近隣市のごみ量の推移について報告。

(2) 浦安市レジ袋削減検討協議会の設置について説明。

(3) 一般廃棄物処理手数料の料金改定に伴う周知方法及び経過について報告。

6 会議経過

傍聴者の入場、会長挨拶を行った後、会長が議事を進行した。

事務局から「近隣市のごみ量の推移について」の説明を行い、委員より意見及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

・委員 千葉市の資源ごみ回収量について、特に紙類の収集量が増えていますがこれは何かあるのですか。

・事務局 家庭ごみの収集について、それほど差はありませんが、クリーンセンターの作業員や職員により事業系ごみに含まれている紙類を可燃ごみとしては持ち込ませず、資源ごみとして徹底的に持ち込ませたと云われ

ています。

- ・委員 浦安市は他の市町村と比べて事業ごみが4.1%と減っており良い傾向だと言える。これは多量排出事業者の努力の結果だと思います。

続いて事務局より「浦安市レジ袋削減検討協議会の設置について」の説明を行い、委員より意見及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

- ・会長 市内の西友、ダイエー、イトーヨーカ堂さんにも参加していただき、どのようにしたらレジ袋が削減できるのか、また、3店舗足並をそろえて有効に開始できるのか、3月までにこれらの協議をして検討していきます。また、この審議会からご意見があれば協議会に報告いたします。
- ・委員 私は、西友さんで買い物をするときは必ずマイバッグを持参しレジ袋を断るとレジ清算ごとに2円を引いてもらっています。他店でもポイントカード制やスタンプ等の特典があり利用しています。しかし、特典の無いお店やコンビニ等では、ついもらってしまう傾向があるので、その点を工夫していただければと思います。
- ・委員 コンビニ等にレジ袋削減の還元をお願いしたい。また、コンビニ等にマイバッグを持参してもお店に入る前からマイバッグを準備していないと、商品をレジ袋に入れられてしまい間に合わない。レジでの仕組みを考えてほしい。
- ・委員 レジ袋削減検討協議会についてですが、レジ袋有料化を行っている自治体は既に多くあり条例化されている所や事例もたくさんあります。市内のスーパー側にとっては不安もあると思いますが、時期やタイミングを図りスタートすれば特に問題は無いと考えます。
- ・委員 店舗が大型化してしまうと、多種に渡り買い物をすることで買い物袋

が足りなくなってしまう、買い物をしたい時に買えないというお客様の事を考えると経営が悪化してしまう事も考えられるため、なかなかすぐには難しいところです。また、現在西友では、レジの仕組みを変え最初にレジ袋が必要か、お客様に確認する仕組みになっています。

・委員 この協議会はレジ袋をどうやったら減らせるかということを検討しているわけですから、今回参加している事業者さんはレジ袋を出している事業者さんですので、あまりレジ袋を出さずに努力している事業者さんを会議に参加させてはどうでしょうか。あるいは努力している事業者さんをお呼びでご意見を聞き、現場を見学に行くことも必要じゃないでしょうか。消費者への教育は必要だと思いますが、事業者側にも同様に出さなくて良いという指導もしなければお互い納得のいく方向には進まないと思われまます。

・会長 レジ袋を出さずに努力している事業者さんもありますし、この協議会でそういった事業者さんをお呼びでお聞きする事も出来ますので、今後行っていきたいと考えています。

・事務局 確かにレジ袋を有料化している事業者さんはあります。しかし大型店舗での問題や消費者への理解を求めることが必要な事から、まずはレジ袋有料化となるためのきっかけとして大きなうねりを作るためにスーパー3店舗に集ってもらいました。

・委員 この3店舗は全国ネットのスーパーで、現場の店長に責任を負わせるような形になってしまうのではないかと。自分たちの能力の範囲で判断できる方もお呼びで行わないと難しい話ではないかと思う。

・会長 この場でこのような議論をし、ご意見をいただいている事は、スーパー3店舗だけに留まらず、コンビニや小型店舗が少ないとはいえ、今後範囲を広げて行く事が考えられますので、商工会議所さんにも協力していただき、事前に会議の中でもこのような話があったことを周知してい

ただければと思います。

- ・委員 商工会議所内でも部会活動や委員会活動もあります。その会議の中で、一つのテーマとして加え検討していきたいと思います。

続いて、事務局より、一般廃棄物処理手数料の料金改定に伴う周知方法及び経過について報告を行い、委員より意見及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

- ・事務局 周知方法の一つとしてビーナスニュース内にも料金改定のお知らせを載せました。今回から紙面を小さくしデザインも変更しました。その代わり年2回発行する予定です。
- ・会長 次回からもこのような紙面や形で進めていくのか。
- ・事務局 紙面や形について意見は何も無かったのですが、リユース食器を使用している記事を取り上げており、これに対する反応が結構ありました。その中で、PTAや自治会からの問い合わせが多数ありました。
- ・委員 周知という点では、最近ごみゼロ課さんはとても念入りに周知をしていただいているイメージが強いです。今回の料金改定の件について、周知も良く滑り出しも順調ではないかと印象があります。感触としてはいかがでしょうか。
- ・事務局 周知をして苦情をいただいたということは特にありません。周知をしたことにより料金改定後の手続き的な問い合わせが多数あったことから、一定の周知は図れたと考えております。
- ・委員 このビーナスニュースは市の広報と同じタイミングで配布されているのですか。デザインが以前と違っておしゃれになり、チラシと一緒に入っているとどこかの広告と間違えて見ないまま捨ててしまう人もいる

のではと思いました。

- ・事務局 広報の方は新聞折り込みで行っております。ビーナスニュースは全戸配布をさせていただいております。デザインによってはチラシと間違えてしまう恐れがありますので、ビーナスニュースという存在感を出すような形のものをデザイナーと調整しながら進めていきます。

続いて事務局より挨拶を行い、終了となった。